

令和2年度 中学生の「税についての作文」

柏税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞

「税の使い道」

柏市立風早中学校 三年 末吉 叶枝

税金には、消費税や所得税、自動車税、住民税などがあり、国民はいろいろな場面で税金をたくさん払わなければいけません。私は社会の授業で、この税金が私たちの生活のどこで使われているのかを説明している動画を見て税金は、教育関係や道路の整備などの公共事業関係や社会保障関係で使われていることがわかりました。

私は、他に税金はどのように使われているのか疑問に思ったので、調べてみることにしました。調べてみて一番興味を持ったのが、経済協力費です。経済協力費とは、世界の発展途上国の経済発展を目的とされたものです。税金は、日本のためだけでなく世界のためにも使われている事に驚きました。世界では、先進国から発展途上国に対する援助が求められていて、毎年いろいろな援助がされています。日本から発展途上国へ提供されている援助は政府開発援助、通称ODAといっています。今は日本もODAを供給する側にいますが、戦後復興時期には北米・南米にある国から、ODAを受けとる側でした。ODAのおかげで復興した日本は、一九五四年にはODAを出す側になりました。しかし日本は、借金を出額は一九八九年にはアメリカを抜いて世界一位になりました。しかし日本は、借金をたくさん抱えているのになぜこんなにも大金を出せるのか疑問に思いました。なかには、ODAを供給するのは税金を無駄にしていると考える人もいるかと思えます。ただODAを供給する事にメリットがある事が調べてみてわかりました。それは、日本への信頼が高まり、戦争やテロの対象を防ぐ効果があり、日本の安全の確保ができることです。ほかに、二〇一一年に発生した東日本大震災で、これまで日本がODAで援助してきた国々から援助してもらった事がありました。ODAを供給することによって自分達は、頻繁にメリットがあると感じることは少ないかもしれないけど、いざとなったら、このように援助してもらった事ができたり、飢えや貧困に苦しみ、十分な食料や飲み水を得られない人が少しでも減ったりするのならばODAを供給するのは決して無駄な事ではなく、自分達の利益だけを考えるのではなく、支え合って共存していく事が大事だと思います。これを日本中の人達に理解してもらえるように積極的に税金について発信していったら、一人でも多くの人が怠らない事が大事だと思います。

私はこれからもっと税金について理解を深め、税金を払うとき日本だけでなく、世界の生活に困っている人達にも使われている事を思い出して税金をしっかり払っていきたいと思います。